



羽津っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~hazu/cms2/htdocs/>

全国体力・運動能力調査の結果 5年生



本年度、一学期に5年生が実施した調査の結果が届きましたので概要をお知らせします。

種目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (回)	20m シャトルラン * (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	合計点 (点)
男子									
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
県	16.77	19.43	33.21	42.89	51.71	9.39	151.97	22.20	54.22
本校	15.21 ▽	20.26 ◎	34.94 ◎	44.79 ◎	50.88 ▽	9.43 ▽	145.21 ▽	19.40 ▽	54.03 ▽
女子									
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
県	16.32	18.41	37.43	41.05	40.77	9.66	145.54	14.00	55.75
本校	15.76 ▽	20.40 ◎	40.63 ◎	42.43 ◎	43.50 ◎	9.43 ◎	142.73 ▽	12.59 ▽	56.55 ◎

(*)20mシャトルラン

20m間隔に引かれた線の間を電子音に合わせてひたすら往復していく運動で持久力を調べるものです。電子音についていけなくなった時点で終了です。回数を記録します。

□男子は、上体起こし、長座体前屈及び反復横跳びが全国・三重県平均を上回りましたが、その他の種目は全国・三重県平均を下回りました。「握る・走る・跳ぶ・投げる」及び持久力において低い結果となっています。

□女子は、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン及び50m走が全国・三重県平均を上回りました。その他の「握る・跳ぶ・投げる」が課題となっています。

□男女とも羽津っ子は、体の柔軟性はあると言えます。しかし、運動能力として「投げる」「走る」「跳ぶ」といった運動や鉄棒運動などで力がつくとされる「握力」が課題として表れています。

先日報告しました学校教育活動のアンケートにおいて子どもたちの「体づくりや運動をしている」についての肯定的な回答は92%でしたが、今回の数値の結果を踏ま



え、本校の子どもたちの体力の実態を把握しながら、今後の体育科の授業や体育的行事・遊びを通して継続して取り組んでいきたいと考えています。

□来年度から三泗陸上記録会に6年生が学校代表として参加します。例年は秋に開催されますが来年度は工事の関係で6 / 4に開催されます。

出場種目は、男女とも「100m」；4名、「4×100mリレー」；1チーム、「走り幅跳び」；2名、「ソフトボール投げ」；3名で合計26名の選手です。



新しくなった四日市中央緑地の本格的な陸上競技場での開催となります。

三泗陸上記録会は、体力テストではなく、陸上競技として扱われるため、例えば「走り幅跳び」では実際に跳んだ距離ではなく、踏切板からの距離の計測となります。踏み越えるとファールとなり失格となります。リレーではバトンゾーンを出てしまうと失格となります。

選手になった皆さんには、放課後の練習会に参加してもらうことになります。

選手以外の6年生は、当日全員で応援に行く計画です。三泗陸上記録会に参加することでそのための練習も含め、学校全体の陸上競技に対する意欲・関心を高めると共に、本校の課題でもある「投げる」「走る」「跳ぶ」といった運動能力の向上が期待されます。



三泗特別支援学級学習発表会 2/9

本校のさくら学級が、9日(土)に四日市市文化会館にて開催された三泗特別支援学級学習発表会に参加しました。

さくら学級の発表は、劇「さくらゆうびんからのおてがみ」でした。これは、さくら学級がまさに学校で取り組んだ「さくらゆうびんきょく」を題材とし、劇仕立てで一人ひとりが自分の台詞を持ち、おてがみの心温まる様子を発表しました。



練習の時よりも本番の大舞台の方がとてもよかったです。同時に第一展示室にて学習展示があり、さくら学級は「さくらゆうびんきょく」の様子の分かる写真やハガキ、帽子や郵便用カバンを展示しました。

発表も展示も学習発表会にとってもふさわしい内容でした。誇りに思います。

1年 保幼交流会 2/13

1年生が、羽津幼稚園、羽津保育園、みのり保育所の年長児さんを体育館にお招きして、交流会を行いました。これは羽津中学校区の「学びの一体化」の取組の一つです。

本校の1年生が予め準備したゲームで、グループに分かれて楽しく遊びました。ゲームを通して現1年生と新1年生が一緒に過ごすことは両者にとって有意義なことです。



年長児さんも小学校に親しみを持ってもらえたのかなと思います。現1年生がとても優しいお姉さん・お兄さんに見えました。頼もしいものです。